

ザ・キャビンカンパニーデザイン「猿酒」のマンホールカードを  
大分県立美術館で配布します



日本のマンホール蓋はその土地に縁のある各所、名物品、スポーツ、キャラクター等が描かれており、全国各地でデザインが違うご当地モノです。マンホールカードは、その様々なデザインをカードにしたものであり、下水道関連施設や観光案内所等で無料配布されています。[\(※マンホールカードの詳細については下水道広報プラットフォームのHPをご覧ください。\)](#)

2023年11月17日に発表された第21弾マンホールカードに、絵本作家/美術家であるザ キャビンカンパニーが「猿酒」をモチーフにデザインしたマンホール蓋が選ばれ、12月15日より大分県立美術館1F ミュージアムショップにて配布することとなりましたのでお知らせします。

マンホールカードは1種につき配布場所は1カ所のみですので、ザ キャビンカンパニーデザイン「猿酒」マンホールカードは大分県立美術館でしか手に入りません。ぜひご来館のうえ「猿酒」カードをゲットしてください。

■ 配布開始日

2023年12月15日（金）10：00～

■ 配布場所

大分県立美術館 1F ミュージアムショップ PortoPorta(ポルトポルタ)

■ 料金

無料

■ 備考

原則 1人につき 1枚を配布

**民話「猿酒」とは…**

その昔、中屋玄通という行商人が高崎山のふもとでカニに足をはさまれ苦しんでいる猿を助けてあげました。それを喜んだ猿は、果実を噛んで造るという大変美味なお酒「猿酒」が湧き出る大きな岩へ玄通を案内しました。玄通はその「猿酒」を売り歩き、巨万の富を築いた大商人となったというお話

です。猿の首に巻いている手ぬぐいや猿酒が入ったひょうたんには、高崎山やかぼす、ピワ、しいたけ、いちじくが描かれています。



## ザ・キャビンカンパニー プロフィール

阿部健太郎(1989-)と吉岡紗希(1988-)による二人組の絵本作家／美術家。ともに大分県生まれ。大分県由布市の廃校をアトリエにして、絵本・立体造形・アニメーションなど様々な作品を生み出し、国内外で発表している。

また、大分県立美術館では再来年の2025年（令和7年）2月7日(金)～4月13日(日)の期間、1階 展示室A・アトリウムにて、ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展〈童堂讃歌〉を開催します。少し先の展覧会となりますが、こちらもどうぞ期待ください。

[ザ・キャビンカンパニー大絵本美術展〈童堂讃歌〉についてはこちら](#)

### ■ 問い合わせ

公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

広報担当：渡邊、山口

Tel: 097-533-4500 Email: [info@opam.jp](mailto:info@opam.jp)